

教育科目	テクノロジー・ハードウェア分野 I		教育内容	テクノロジー・ハードウェア分野 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 基本情報レベルのテクノロジー分野関連知識を習得し、テクノロジー系の細目について説明できる。						
授業概要	基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト 前期 回・後期 回			前期 回・後期 回			
	評価方法 定期試験及び平常点 (検定試験結果を含む) により判定する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT ワールド』(インフォテック・サーブ)						

教育科目	ストラテジ分野 I		教育内容	ストラテジ分野 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 基本情報レベルのストラテジ分野関連知識を習得し、各細目について説明できる。						
授業概要	「企業と法務」、「経営戦略」、「情報システム戦略」、「開発技術」について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT 戦略とマネジメント』（インフォテック・サーブ）						

教育科目	マネジメント分野 I		教育内容	マネジメント分野 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 基本情報レベルのマネジメント分野関連知識を習得し、各細目について説明できる。						
授業概要	「プロジェクトマネジメント」、「サービスマネジメント」、「システム監査と内部統制」について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT 戦略とマネジメント』（インフォテック・サーブ）						

教育科目	アルゴリズム基礎 I		教育内容	アルゴリズム基礎 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	基本的なアルゴリズムを設計、評価できる。						
授業概要	基本的な探索アルゴリズムやソートについて学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	伊藤静香『アルゴリズムを、はじめよう』(インプレス)、						

教育科目	データベース技術 I		教育内容	データベース技術 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. SQL の基本文法を身に付ける。 2. SQL を使い、要求されたタスクをこなすことができる。						
授業概要	SQL の文法のみならず、データベースの種類や役割・仕組みを学びながら、データベースの操作方法を学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	中山清喬・飯田理恵子『スッキリわかる SQL 入門 第4版 ドリル 256 問付き!』(インプレス)						

教育科目	Web デザイン I		教育内容	Web デザイン I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. デザインについて基礎知識を習得する。 2. 進化思考による創造性を育み、システム開発・アイデア発想力を習得する。						
授業概要	初めにデザインの必要性について学ぶ。その後、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得する。生成 AI を含めた、IT 技術について学びアイデアの発想技法について習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	太刀川 英輔『進化思考 [増補改訂版]』——生き残るコンセプトをつくる「変異と選択」						

教育科目	HTML・CSS I		教育内容	HTML・CSS I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. ユーザビリティの高いデザインについて基礎知識を習得する。 2. HTML、CSS を使い、ウェブページの作成ができる技術を身につける。						
授業概要	初めに Web デザインの必要性について学ぶ。その後、配色やレイアウトなどを学習し、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得する。後半課題としてテーマを与え、利用者を想定した Web デザインを完成させる。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 2 回・後期 回		
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	Mana『1冊ですべて身につく HTML & CSS と Web デザイン入門講座 [第2版]』(SBクリエイティブ)、ふらいまり。『Adobe Express スタートブック 無料で使えるデザインツール』(技術評論社)						

教育科目	総合実践 I		教育内容	総合実践 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 2. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業になれる。						
授業概要	グループごとにデザイン、システム・企画の発案、設計、開発を行いながら複数人での開発作業を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 レポートの評価と出席率によって判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	グループマネジメント I		教育内容	グループマネジメント I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. グループ作業に必要な情報伝達、マネジメント手法を習得する。						
授業概要	構成的グループエンカウンターなどのワークを通して、コミュニケーション技術、グループ運営の手法を体験から学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 振り返りレポートと出席率により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	国家試験対策 I		教育内容	国家試験対策 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 情報システム試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験に合格できる。						
授業概要	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各種検定の受験結果及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 A 問題集』（インフォテック・サーブ） インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 B 問題集』（インフォテック・サーブ） インフォテック・サーブ『基本情報科目 B 対策 STEP BY STEP 問題集』（インフォテック・サーブ） かんたん合格 基本情報技術者過去問題集 令和 7 年度(ノマド・ワークス) 情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第 4 版 (EXAMPRESS)						

教育科目	DTP I		教育内容	DTP I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. レイアウトデザインの知識を活用し、DTP・Web・SNS コンテンツを制作できる。 2. チラシ・ポスター・冊子・Web ページ・SNS 投稿用コンテンツのデザイン技術を習得する。						
授業概要	レイアウトデザインの知識を活かし、DTP (チラシ・ポスター・冊子)、Web ページ、SNS 投稿用コンテンツの制作を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2 回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	ARENSKI 『知りたいレイアウトデザイン Second Edition』 (技術評論社)						

教育科目	国家試験対策Ⅱ		教育内容	国家試験対策Ⅱ			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 情報システム試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験に合格できる。						
授業概要	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各種検定の受験結果及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 A 問題集』（インフォテック・サーブ） インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 B 問題集』（インフォテック・サーブ） インフォテック・サーブ『基本情報科目 B 対策 STEP BY STEP 問題集』（インフォテック・サーブ） かんたん合格 基本情報技術者過去問題集 令和 7 年度（ノマド・ワークス） 情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第 4 版（EXAMPRESS）						

教育科目	Ruby 基礎 I		教育内容	Ruby 基礎 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. Ruby によるプログラミングを学習し、基本的な文法を習得する。						
授業概要	基本的な文法を解説し、演習によりプログラムを作成する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	山田祥寛『独習 Ruby 新版』(SB クリエイティブ)、自主作成教材						

教育科目	JavaScript I		教育内容	JavaScript I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	22 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. JavaScript の基本構文から組み込みオブジェクトまでを学習し利用できる力を身につける。						
授業概要	JavaScript の基本となる変数やデータ型、演算子や制御構文を学習する。その後、基本データを操作する形で組み込みオブジェクトの知識を習得していく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	Mana『1冊ですべて身につく JavaScript 入門講座』（SB クリエイティブ）						

教育科目	制作演習 I		教育内容	制作演習 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. プロジェクトの企画・立案を通じて、チームでの円滑なコミュニケーションを実践する。 2. 計画立案・意見交換・実行のプロセスを経験する。 3. チームワーク、コミュニケーション能力を養い、協力して新規プロジェクトの計画を作成する。 4. 問題解決能力やリーダーシップを養い、実践的なプロジェクト遂行力を身につける。						
授業概要	共同企画の立案と計画を通じて、チームのコミュニケーション力と協働力を高め、実践的なプロジェクト遂行力を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	HTML・CSS II		教育内容	HTML・CSS II			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. モバイルファーストを基本とした Web デザインを学習し、PC など端末ごとのデザインも考慮しサイト全体の制作を学習する。						
授業概要	モバイルサイト制作に必要な CSS プロパティ・メディアクエリなどの知識を学習する。その後テーマを決め、スマートフォンなどのモバイル端末を主体としたサイト制作に取り組む。デザインに必要な情報を整理し、ワイヤーフレームなど必要なものを作成した後、作成された資料をもとにコーディングしていきサイトを完成させる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 定期テストに代わるテーマ課題と日々の提出課題にて総合評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	Mana 『ほんの一手間で劇的に変わる HTML & CSS と Web デザイン実践講座』（SB クリエイティブ）、 古尾谷眞人『作って学ぶ Figma 入門 [完全版] ステップ・バイ・ステップで身につく Web/UI デザインの基本』（技術評論社）						

教育科目	総合実践Ⅱ		教育内容	総合実践Ⅱ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	29 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 2. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業になれる。 3. 開発に伴う文書作成、設計書の作成ができる。						
授業概要	グループごとにウォーターフォールモデルを用いてシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	UI/UX I		教育内容	UI/UX I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. レイアウトデザインの基本ルールと視覚誘導のテクニックを理解する。 2. 多様なメディア（Web・紙媒体）に応用できるデザインスキルを習得する。 3. 効果的な情報整理とデザインワークの工夫を実践できるようになる。						
授業概要	レイアウトデザインの基本ルールや視覚誘導技術を学び、Web・紙媒体に応用できる実践的なスキルを習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	ARENSKI 『知りたいレイアウトデザイン Second Edition』（技術評論社）						

教育科目	PBL 基礎 I		教育内容	PBL 基礎 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 問題発見から解決策の立案までの大まかな流れを理解する。 2. グループワークやディスカッションを通じて、効果的な意思疎通や役割分担を学ぶ。 3. 課題解決に必要な情報収集や分析手法を習得する。						
授業概要	PBL 基礎 I では、問題解決型学習（Project-Based Learning / Problem-Based Learning）の基礎を習得する。学生はチームを組み、提示されたテーマや課題に対して、リサーチ・分析・討議・発表といった一連のプロセスを体験する。授業内では、プロジェクトの進行に必要な基礎的スキル（情報の集め方、仮説の立て方、プレゼンテーション方法など）を学びながら、チームワークを向上させることを目的とする。本科目を通じて、次学期の PBL 基礎 II でより高度なプロジェクトに取り組む土台を築く。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1 回・後期	回
	評定方法 レポートの評価と出席率によって判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	PBL 基礎 II		教育内容	PBL 基礎 II			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. チーム内での目標設定、タスク管理、進捗確認を適切に行う。 2. Web アプリや簡易システムの試作においてツールを効果的に使う。 3. 具体的なユーザー調査方法と、それに基づくサービス・機能の改善手法を学ぶ。						
授業概要	PBL 基礎 I で身につけた問題解決スキルとチームワークをさらに発展させ、ノーコードツールを活用したプロトタイピングを習得する。具体的には、ユーザー調査や UX (ユーザー体験) 設計の基礎を学びながら、実際に画面遷移やデータの流れをイメージできる簡易アプリを作成する。最終的には、より実践的なプロジェクト遂行能力を身につけ、将来の IT 業界で必要とされる開発プロセス全体を俯瞰できるようになることを目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 レポートの評価と出席率によって判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	MOS 演習 I		教育内容	MOS 演習 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年生	開講期	前期・後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 基本的なパソコン機能・実務で使いこなせる能力を習得する。 2. Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成できる。						
授業概要	基本的なパソコン操作を学ぶ Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成する。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回	後期	回	前期 回・後期 1回	
	評定方法 平常点と出席をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	MOSExcel365&2019 対策テキスト&問題集(よくわかるマスター)(富士通 FOM 出版)						